

## 本時のねらい

- ・国立科学博物館の3Dビュー見学を通して、興味をもったものを相手にわかりやすく伝えることができる。
- ・生物の化石標本や周期表などの展示物の見学を通して、理科の学習に対する興味・関心を高めることができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ウェブコンテンツの活用を通して、ビジョントレーニングに取り組み集中力を高める。
- ・フリーボードでの見学レポート（ポスター）の作成を通して、情報活用能力を育む。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・電子黒板
- ・フリーボード（Apple社）
- ・Google Classroom
- ・国立科学博物館HP（3Dビュー映像）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてと流れを確認する。</li> <li>・ウェブコンテンツ（国立科学博物館の3Dビュー映像）の操作方法を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用すれば、様々な情報にアクセスすることができることを再確認する。</li> </ul>
めあて：博物館の見学レポートを作成しよう！		
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立科学博物館内の見学（3Dビュー映像）を行い、興味をもった展示物の説明を聞く。【写真1】</li> <li>・フリーボードの操作方法を確認する。【写真2】</li> <li>・下記の3点を意識しながら、見学レポート（ポスター）を作成する。</li> <li>①自分が興味をもったものを相手にPRすることができるように、画像や文章を配置する。</li> <li>②学校に貼っているポスターや広告のように、読む人が興味をいだくようなレイアウトを意識する。</li> <li>③相手に説明することができるように、Web検索も利用し展示物について調べる。【写真3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもった展示物は、スクリーンショットで画像を保存させ、後から振り返ることができるように配慮する。</li> <li>・フリーボードで見学レポート（ポスター）を作成する際に、スクリーンショットで保存した画像を使用させ、見学した内容の振り返りができるようにする。</li> <li>・教師が事前に作成した見学レポートを電子黒板に写し、これから作成するもののイメージをつかませる。</li> <li>・レポート作成中は、適宜声掛けを行いながら作成のサポートを行う。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学レポート（ポスター）を職員室にいる教師に見せながら、発表する。</li> <li>・作成した見学レポート（ポスター）をスクリーンショットで保存し、Google Classroomで提出し、本時の振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表前に、授業者と一緒に発表の仕方（操作方法）を確認させる。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】国立科学博物館の見学（3Dビュー映像）を行っている場面



【写真2】フリーボードの操作方法を確認している場面



【写真3】フリーボードを活用し、見学レポートを作成している場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・3Dビュー映像での国立科学博物館の見学に興味を示し、その後の見学レポートの作成にも意欲的に取り組むことができた。
- ・フリーボードを活用し見学レポートを作成する際には、3Dビュー映像で見学した展示物の詳しい内容を自ら進んでWeb検索するなど、主体的に取り組む姿が見られた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・3Dビュー映像を活用することで、学校にいながら遠方地の施設の見学を簡単に行うことができ、生徒の知的好奇心を高める効果が期待される。
- ・フリーボードの活用は、レポート（ポスター）を作成することで様々な情報を整理・発信するといった情報活用能力の育成にも役立つと感じている。